

「施策」総括票

施策展開	5-(1)-イ	家庭・地域の教育機能の充実	
施策	②地域の教育機能の充実		343頁
対応する 主な課題	○地域の教育活動については、学校教育以外の活動である社会教育活動が低迷していることから、公民館等の地域コミュニティの核となる社会教育施設の充実や、社会教育活動をサポートする仕組みの一層の充実など、地域の教育力を支える環境整備を図る必要がある。		
関係部等	教育庁		

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度			
	主な取組	決算額	推進状況
○社会教育施設の整備促進			
1	図書館司書若年者人材育成事業	20,884	順調
○図書館未設置市町村の読書活動推進のため、6名の若年者を採用し、平成24年4月から1年間の図書館業務と図書館司書研修会を実施した。(1)			
○青少年教育施設における体験学習の推進			
2	青少年教育施設の運営充実	209,660	順調
○県立青少年の家の運営と各施設で行われる受入事業や主催事業の充実を図った。(2)			
○社会教育委員等資質向上支援			
3	社会教育指導者研修会	198	順調
○社会教育関係者を対象とした研修会を開催し、全国的な社会教育に関する情報や県内の実践事例の紹介等を行った。(3)			

様式2(施策)

○子どもの読書活動推進						
4	読書活動への理解と関心の高揚	204	やや遅れ	○「子ども読書の日」、「文字活字文化の日」記念フォーラムを開催したが、参加者数は計画値450人に対し334人にとどまったため、やや遅れとなった。(4)		
5	関係機関の連携		順調	○子どもの読書活動推進担当者会議を4回開催した。また子どもの読書活動推進計画の策定を促進したことから、19市町村が計画を策定した。(5)		

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

1	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	県民一人あたりの図書貸出冊数		3.5冊/年 (23年)	3.5冊/年 (24年)	4冊/年	0冊	5.6冊 (22年)
状況説明	図書館設置率の低さから、県民一人当たりの図書貸出冊数が3.5冊と、全国平均5.6冊に比べ低い。県立図書館による移動図書館等で読書サービスを支援し、貸出冊数の増加を図る。						
2	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	社会教育施設利用者数		930,608人 (22年)	1,033,536人 (24年)	1,018,500人	102,928人	—
状況説明	各青少年の家において、教育施設という基本方針を踏まえつつ、施設の特徴を生かした体験活動の充実等、個性的な事業展開を実施している。そのような取組によって、県民や児童生徒の利用者が増加している。						

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
青少年の家施設利用者数	195千人 (22年)	197千人 (23年)	200千人 (24年)	↗	—
施設職員の研修会参加者数	30人 (22年)	30人 (23年)	46人 (24年)	↗	—
社会教育指導者研修会 参加者数	187人 (22年)	170人 (23年)	161人 (24年)	↘	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

○社会教育施設の整備促進

・県内市町村の約半分は図書館を未設置の状況にあり、図書館設置を各市町村に促していくためにも、図書館業務に精通し、読書活動を推進する人材の育成を行う必要がある。

○青少年教育施設における体験学習の推進

・平成24年度は、青少年教育施設が主導的だったため、利用団体それぞれが事業主体であるという意識を高める必要がある。

○社会教育委員等資質向上支援

・各地域における社会教育指導者の資質向上のための研修会等を実施しているが、開催地と旅費の関係上、離島からの参加者が限定されている。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

○子どもの読書活動推進

・本県の図書館設置率は56.1%で、全国の図書館設置率74.1%を20%近く下回っており、図書館未設置市町村のほとんどが離島へき地である。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

○社会教育施設の整備促進

・平成24年度で図書館司書若年者人材育成事業は終了となるが、人材育成として、県立図書館セミナーや新任図書館長研修会等を継続実施していくことに加え、司書育成に向けた研修等を設け、地域の読書活動の核となる人材の育成を図る。

○青少年教育施設における体験学習の推進

・利用団体に対しては、事業実施の際の事前研修を行う。また、定期的な指導者研修会を実施し、指導者や利用者の意識を高めるなど研修内容の充実を図る。

○社会教育委員等資質向上支援

・県内各地域において参加者の増加を図るが、特に離島からの参加者増を促進するため、研修の必要性をアピールし、周知・広報を図る。

○子どもの読書活動推進

・県立図書館による移動図書館や一括貸出などのサービスについて、市町村に周知するとともに、引き続き読書フォーラムの開催等を実施していくことによって、県民の読書に対する関心を高め、図書館設置に向けた気運醸成を図る。また、今帰仁村において、廃校となった中学校を活用した図書館運営を行うなど、市町村によって様々な工夫が見られる。図書館未設置町村に対してはこれらの情報を提供しながら、関係市町村教育委員会及び県内6地区教育事務所との連携を図り読書環境整備へ向けた指導・支援を行う。